

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2007-181207(P2007-181207A)

【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-026

【出願番号】特願2006-348805(P2006-348805)

【国際特許分類】

H 04 L 7/00 (2006.01)

H 04 J 3/06 (2006.01)

【F I】

H 04 L 7/00 Z

H 04 J 3/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月10日(2009.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のノード(132)から同期プリアンブルを有する通信信号を送信するステップと、

前記第1のノードと少なくとも1つの第2のノードとの間の通信の同期をとる(132)ために、少なくとも1つの第2のノードの局部クロックを前記同期プリアンブルに従って設定するステップと、

前記第1のノードと少なくとも1つの第2のノードとの間で、追加のプリアンブルなしに、特別なスイッチポイントが生じる(136)まで後続のデータ通信を交換する(134)ステップと、

前記特別なスイッチポイントが生じた(136)後は、データ通信に続く減少した時間同期正確度の期間を利用する情報を交換する(138)ステップと、を含む通信(130)の方法。

【請求項2】

残余時間同期期間中に生じる情報交換(138)を開始するため残余スイッチポイント(136)をノードに発行するステップと、

前記残余スイッチポイントに応答して各ノードのスケジュールタイマを開始する(602)ステップと、

受信されたスケジュールの選択スケジュールエントリおよび各ノードのスケジュールタイマに基づいて各ノードでアクティビティを実行する(604)ステップと、を含む残余時間同期期間中のノード間通信の方法(130、600)。

【請求項3】

通信ノードのクロック動作に適合される局部クロック(306)と、

通信信号を選択的に送信および受信するように適合される送信器/受信器回路(316、318、320)と、

前記局部クロックを別の通信ノードからの受信通信信号に同期させて、前記通信ノード間で通信を確立するように適合される同期回路(305)と、

前記送信器/受信器回路(316、318、320)および前記同期回路(305)を

制御し、前記通信信号を処理し、ある期間の間、前記局部クロック（306）を再同期化することなく前記通信ノード間の通信を行い、特別なスイッチポイントに応答して情報を交換するように適合されている制御回路（314）と、
を含む通信ノード（300）。